



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊 ニュース

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2007年12月30日 2008年1月6日 No.600 新年号

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>



2008年

今年も

くらし・福祉 第一でガンバります

みやざき克俊 ニュース発行13年、600号に

毎週発行してきた「みやざきニュース」。福祉充実へ住民世論形成の一翼を担ってきました。



みやざき克俊ニュースは通算600号となりました。第1号は94年。それから13年間、くらし・福祉守る立場でほぼ毎週発行してきました。

特に、子ども医療費の充実や住宅の耐震化支援の実現、特養老人ホーム増設など、このニュースで訴えてきたことが世論の盛り上がりともあいまって、消極的だった区の姿勢を変える力になりました。

また、無料法律相談や地域・民主団体の取り組みなど、区民のみなさんに必要な情報も提供してきました。引き続きガンバります。今年もご支援をお願いします。

みやざきニュースは600号を機にA4版に変更し、文字も大きくしました。今後よろしくお願ひします。



特養老人ホーム

区長「増設を検討」答弁 道開いたニュースの力

みやざきニュースは、区民のくらし・福祉を守る立場を貫き、区民世論形成に寄与してきました。特養老人ホーム増設問題での論戦は、その一例です。

特養老人ホームは、濱野区長が11月22日の区議会本会議で「長期計画の中で特養老人ホームの整備を検討する」と答弁。

これまでの「特養ホームの整備は終わった」という姿勢を変えました。

特養老人ホームの問題では、当ニュースは入所待機者が450人にも上っていること、特養ホームは月額7万円程度で利用できるが、区が特養ホームに替わる施設と説明するケアホームは月額利用料が25〜30万円もかかる…などの実態を伝えてきました。こうしたなか、「ケアホームでは国民年金しか収入がない高齢者が入れない」、「所得の少ない人でも入れる特養ホームを

つくってほしい」という声広がりました。特養老人ホームの増設問題でも、ニュースが力を発揮してきたのです。

また、子ども医療無料化は今では中学3年生まで対象になりましたが、共産党のニュースは当初から区民要望の正当性を明らかにして実現を訴えてきました。さらに、住宅の耐震診断・補強改修への公的支援の実現や認可保育園の増設など…共産党のニュースが実現に道を開いてきたのです。



政務調査費を生かす 日本共産党議員のニュース

飲み食い
でなく

政務調査費をつかって飲食を繰り返していた自民党品川区議団が3000万円余を返還するなど、政調費のあり方が問われています。日本共産党区議団は各議員が毎週ニュースを発行、政調費を区民のために有効活用しています。

政務調査費の「使途基準」は議会で決められており、正しく運用するのは当然です。日本共産党区議団は、政調費を活用してニュースを発行。区政や区議会の動きを住民に知らせるとともに住民要求アンケートを実施、区政に反映させてきました。こうした活動は議員としてもっとも大事な活動ですが、そのために政務調査費があるのです。なかでも、「みやざき克俊ニュース」な

ど日本共産党議員団と各議員が発行するニュースこそ政調費の使い方の「見本」だと自負しているところです。

政調費を自民党はキャバレーや飲食、民主党は政治資金パーティー券、公明党はミステリー小説購入などにも充てていましたが、日本共産党の発行するニュースは区民の福祉、くらしのために生かされています。



無料
法律相談は1月18日(金)

